

AED使用の際は、三角巾を使用しプライバシー保護に努めましょう。

<p>①三角巾を胸にかける</p>	<p>②三角巾をかけたままパッドを装着</p>	<p>③AEDのメッセージに従いショックを実施</p>
		

※可能な限り、服を脱がさずにAEDパッドを装着しましょう。

	
---	---

三角巾を使用した応急手当

骨折に対する応急手当

①部位の確認

痛まっている箇所を訊いて、その箇所に変形や出血がないかを確認します。

※ポイント ●痛がる箇所を動かしてはいけません。

- 骨折かどうか迷う時は骨折しているものとして手当をする。
- 骨折の症状
激しい痛みや腫れがあり、動かす事が出来ない。変形が認められたり、骨が飛び出しているなど・・・。

②固定（そえ木、三角巾など）

※ポイント ●変形している時は無理に元の形に戻してはいけません。

- 協力者がいれば骨折箇所を支えてもらいます。
- 傷病者が支えることが出来れば自ら支えてもらいます。
- そえ木を当てます。
- 三角巾などでそえ木に固定します。

(骨折部の上下の関節が固定出来る長さの物を使用します)

腕の固定



雑誌を利用した前腕部の固定



腕の吊り下げ

